

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )			
		12/13 - 12/20	12/20 - 12/27	12/27 - 1/4	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	0.012	0.024
		セシウム137	0.074	0.083	0.21
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	-	不検出	0.012
		セシウム137	-	0.050	0.097
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.120	0.045	0.016
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.028	0.073	0.044
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.053	0.043	0.065
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	0.025	0.020
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.063	0.050	0.068
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.020	0.064	0.045

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )			
		12/13 - 12/20	12/20 - 12/27	12/27 - 1/4	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.027	0.079	0.051
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.021	0.038

検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第76回目  
大気浮遊じん放射能測定結果の解説  
(平成29年12月13日～平成30年1月4日)

冬本番になって比較的強い風が吹く日も多くなっていますが、平成29年12月13日～平成30年1月4日の間の大気浮遊じん中に含まれるセシウム137の濃度は、平均0.058mBq/m<sup>3</sup>と低い値で推移しています。南相馬市では、原発事故後、市民を対象とした全身放射能測定器(WBC)を使った体内放射能検査が継続されていますが、平成26年度以降、20Bq/kgを超えて取り込んだ方は殆どおられず、内部被ばくによる健康影響を心配することはありません。

平成29年12月13日から20日までの間、金房小学校において電気設備等の工事が行われ、この間を欠測期間としております。